

項目	J-MIXコード	コード体系	備考
臓器提供者レセプト種別	OrganDonor.Receipt.Category.Code	1.2.392.200119.10.180150	別表26
診療年月	OrganDonor.Receipt.Visit.YearMonth	1.2.392.200119.10.180150	別表5
入院年月日	OrganDonor.AdmissionDate	1.2.392.200119.10.180150	別表5
病棟区分	OrganDonor.Ward.Category.Code	1.2.392.200119.10.180150	別表8
レセプト特記事項	OrganDonor.Receipt.NoteCategory.Code	1.2.392.200119.10.180150	別表10
カルテ番号・患者ID番号等	OrganDonor.MedicalRecord.ID	1.2.392.200119.10.180150	
割引点数単価	OrganDonor.Receipt.DiscountedPricePoints	1.2.392.200119.10.180150	

2) 臓器提供医療機関情報レコード

項目	J-MIXコード	コード体系	備考
臓器提供区分	OrganDonationCategory.Code	1.2.392.200119.10.180140	別表24

表 6-100 臓器提供者レセプト情報レコードセクションクラスのXML仕様

No	XPath	値	多重度	選択性
1.	/ClinicalDocument/component/structuredBody/component/section/component/section/component/section/component/section		1..1	M
2.	code	セクションコード(臓器提供者レセプト情報レコード)	1..1	M
2.1.	@code	コードのニーモニック 「OrganDonor.Claimed」	1..1	M
2.2.	@codeSystem	コード体系 OID 「1.2.392.200119.10.180000」	1..1	M
2.3.	@codeSystemname	コード体系 「JMIX」	0..1	O
2.4.	@displayName	コードの表示名 「臓器提供者レセプト情報レコード」	0..1	O
3.	title	セクションタイトル	0..1	O
3.1.	text ()	「臓器提供者レセプト情報レコード」	1..1	M
4.	entry		1..1	M
5.	observation	臓器提供者レセプト種別	1..1	M
5.1.	@classCode	HL7 ボキャブラリドメイン ActClass の「OBS」を指定。	1..1	M
5.2.	@moodCode	HL7 ボキャブラリドメイン ActMood の「EVN」を指定。	1..1	M
6.	code	臓器提供者レセプト種別コード	1..1	M
6.1.	@code	コードのニーモニック 「OrganDonor.Receipt.Category.Code」	1..1	M
6.2.	@codeSystem	コード体系 OID 「1.2.392.200119.10.180150」	1..1	M
6.3.	@codeSystemname	コード体系 「JMIX」	0..1	O
7.	value	臓器提供者レセプト種別コードの値	1..1	M
7.1.	@type	「CV」	1..1	M
7.2.	@value	別表26より規定にコードを設定する。 例:1991	1..1	M
8.	entry		1..1	M
9.	encounter	診療年月	1..1	M
9.1.	@classCode	HL7 ボキャブラリドメイン ActClass の「ENC」を指定。	1..1	M
9.2.	@moodCode	HL7 ボキャブラリドメイン ActMood の「EVN」を指定。	1..1	M
10.	code	診療年月	1..1	M

No	XPath	値	多重度	選択性
10.1.	@code	コードのニーモニック 「OrganDonor.Receipt.Visit.YearMonth」	1..1	M
10.2.	@codeSystem	コード体系 OID 「1.2.392.200119.10.180150」	1..1	M
10.3.	@codeSystemname	コード体系 「JMIX」	0..1	O
11.	effectiveTime	診療年月の値	1..1	M
11.1.	@value	[YYYYMM] 例: 200910	1..1	M
12.	entry		0..1	R
13.	encounter	入院年月日	1..1	M
13.1.	@classCode	HL7 ボキャブラリドメイン ActClaas の「ENC」を指定。	1..1	M
13.2.	@moodCode	HL7 ボキャブラリドメイン ActMood の「EVN」を指定。	1..1	M
14.	code	入院年月日	0..1	R
14.1.	@code	コードのニーモニック 「OrganDonor.PastAdmission.AdmissionDate」	1..1	M
14.2.	@codeSystem	コード体系 OID 「1.2.392.200119.10.180150」	1..1	M
14.3.	@codeSystemname	コード体系 「JMIX」	0..1	O
15.	effectiveTime	入院年月日の値	1..1	M
15.1.	@value	[YYYYMMDD] 例: 20091101	1..1	M
16.	entryRelationship		0..4	R
17.	observation	病棟区分	1..1	M
17.1.	@classCode	HL7 ボキャブラリドメイン ActClaas の「OBS」を指定。	1..1	M
17.2.	@moodCode	HL7 ボキャブラリドメイン ActMood の「EVN」を指定。	1..1	M
18.	code	病棟区分コード	1..1	M
18.1.	@code	コードのニーモニック 「OrganDonor.Ward.Category.Code」	1..1	M
18.2.	@codeSystem	コード体系 OID 「1.2.392.200119.10.180150」	1..1	M
18.3.	@codeSystemname	コード体系 「JMIX」	0..1	O
19.	value	病棟区分コードの値	1..1	M
19.1.	@type	「CV」	1..1	M
19.2.	@value	別表8より規定のコードを設定する。 例: 02	1..1	M
20.	entry		0..5	R
21.	observation	レセプト特記事項	1..1	M
21.1.	@classCode	HL7 ボキャブラリドメイン ActClaas の「OBS」を指定。	1..1	M
21.2.	@moodCode	HL7 ボキャブラリドメイン ActMood の「EVN」を指定。	1..1	M
22.	code	レセプト特記事項コード	1..1	M
22.1.	@code	コードのニーモニック 「OrganDonor.Receipt.NoteCategory.Code」	1..1	M
22.2.	@codeSystem	コード体系 OID 「1.2.392.200119.10.180150」	1..1	M
22.3.	@codeSystemname	コード体系 「JMIX」	0..1	O
23.	value	レセプト特記事項コードの値	1..1	M
23.1.	@type	「CV」	1..1	M
23.2.	@value	別表10より規定のコードを設定する。 例: 03	1..1	M
24.	entry		0..1	O

No	XPath	値	多重度	選択性
25.	observation	カルテ番号、もしくは患者 ID 番号	1..1	M
25.1.	@classCode	HL7 ポキャブラリドメイン ActClaas の「OBS」を指定。	1..1	M
25.2.	@moodCode	HL7 ポキャブラリドメイン ActMood の「EVN」を指定。	1..1	M
26.	code	カルテ番号等	0..1	R
26.1.	@code	コードのニーモニック 「OrganDonor.MedicalRecord.ID」	1..1	M
26.2.	@codeSystem	コード体系 OID 「1.2.392.200119.10.180150」	1..1	M
26.3.	@codeSystemname	コード体系 「JMIX」	0..1	O
27.	value	カルテ番号等の値	1..1	M
27.1.	@type	「ST」	1..1	M
27.2.	@value	例: 199674738	1..1	M
28.	entry		0..1	R
29.	observation	割引点数単価	1..1	M
29.1.	@classCode	HL7 ポキャブラリドメイン ActClaas の「OBS」を指定。	1..1	M
29.2.	@moodCode	HL7 ポキャブラリドメイン ActMood の「EVN」を指定。	1..1	M
30.	code	割引点数単価	1..1	M
30.1.	@code	コードのニーモニック 「OrganDonor.Receipt.DiscountedPricePoints」	1..1	M
30.2.	@codeSystem	コード体系 OID 「1.2.392.200119.10.180150」	1..1	M
30.3.	@codeSystemname	コード体系 「JMIX」	0..1	O
31.	value	割引点数単価の値	1..1	M
31.1.	@type	「PQ」	1..1	M
31.2.	@value	例: 6	1..1	M
32.	entry		1..1	M
33.	observation	臓器提供区分	1..1	M
33.1.	@classCode	HL7 ポキャブラリドメイン ActClaas の「OBS」を指定。	1..1	M
33.2.	@moodCode	HL7 ポキャブラリドメイン ActMood の「EVN」を指定。	1..1	M
34.	code	臓器提供区分のコード	1..1	M
34.1.	@code	コードのニーモニック 「OrganDonationCategory.Code」	1..1	M
34.2.	@codeSystem	コード体系 OID 「1.2.392.200119.10.180140」	1..1	M
34.3.	@codeSystemname	コード体系 「JMIX」	0..1	O
35.	value	臓器提供区分コードの値	1..1	M
35.1.	@type	「CV」	1..1	M
35.2.	@value	別表 24 より規定のコードを設定。 例: 2	1..1	M

6.2.5.6.3 臓器提供者請求レコードセクション

当該セクションでは、臓器提供者請求情報レコードに含まれる情報を記載する。表 6-101 に示す DPCレセプト電算処理システム請求ファイルの項目を含む。表 6-102 に臓器提供者請求レコードセクションとその XML 仕様について示す。

表 6-101 臓器提供者請求レコードセクションに含まれる情報項目

1) 臓器提供者請求情報レコード

	項目	J-MIXコード	コード体系	備考
	診療実日数	OrganDonor.MedicalCare.Days	1.2.392.200119.10.180160	別表26
	合計点数	OrganDonor.MedicalCare.Points	1.2.392.200119.10.180160	別表5
	食事療養・生活療養回数	OrganDonor.MedicalCare.TimesOfMeal	1.2.392.200119.10.180160	別表5
	食事療養・生活療養合計金額	OrganDonor.MedicalCare.Amount	1.2.392.200119.10.180160	別表8

表 6-102 臓器提供者請求レコードセクションクラスの XML 仕様

No	XPath	値	多重度	選択性
1.	/ClinicalDocument/component/structuredBody/component/section/component/section/component/section/component/section		1..1	M
2.	code	セクションコード(臓器提供請求レコード)	1..1	M
2.1.	@code	コードのニーモニック 「OrganDonor.MedicalTreatment.Claim」	1..1	M
2.2.	@codeSystem	コード体系 OID 「1.2.392.200119.10.180000」	1..1	M
2.3.	@codeSystemname	コード体系 「JMIX」	0..1	O
2.4.	@displayName	コードの表示名 「臓器提供請求レコード」	0..1	O
3.	title	セクションタイトル	0..1	O
3.1.	text ()	「臓器提供請求レコード」	1..1	M
4.	entry		1..1	M
5.	observation	診療実日数	1..1	M
5.1.	@classCode	HL7 ボキャブラリドメイン ActClass の「OBS」を指定。	1..1	M
5.2.	@moodCode	HL7 ボキャブラリドメイン ActMood の「EVN」を指定。	1..1	M
6.	code	診療実日数のコード	1..1	M
6.1.	@code	コードのニーモニック 「OrganDonor.MedicalCare.Days」	1..1	M
6.2.	@codeSystem	コード体系 OID 「1.2.392.200119.10.180160」	1..1	M
6.3.	@codeSystemname	コード体系 「JMIX」	0..1	O
7.	value	診療実日数の値。	1..1	M
7.1.	@type	「PQ」	1..1	M
7.2.	@value	例:30	1..1	M
7.3.	@unit	「d」	1..1	M
8.	entry		1..1	M
9.	observation		1..1	M
9.1.	@classCode	HL7 ボキャブラリドメイン ActClass の「OBS」を指定。	1..1	M
9.2.	@moodCode	HL7 ボキャブラリドメイン ActMood の「EVN」を指定。	1..1	M
10.	code	合計点数のコード	1..1	M
10.1.	@code	コードのニーモニック 「OrganDonor.MedicalTreatment.TotalPoints」	1..1	M
10.2.	@codeSystem	コード体系 OID 「1.2.392.200119.10.180160」	1..1	M
10.3.	@codeSystemname	コード体系 「JMIX」	0..1	O

No	XPath	値	多重度	選択性
11.	value	合計点数の値。	1..1	M
11.1.	@type	「PQ」	1..1	M
11.2.	@value	例: 3000	1..1	M
12.	entry		0..1	R
13.	observation	食事療養・生活療養回数	1..1	M
13.1.	@classCode	HL7 ポキャブラリドメイン ActClaas の「OBS」を指定。	1..1	M
13.2.	@moodCode	HL7 ポキャブラリドメイン ActMood の「EVN」を指定。	1..1	M
14.	code	食事療養・生活療養回数のコード	1..1	M
14.1.	@code	コードのニーモニック 「OrganDonor.MedicalTreatment.TotalTimesOfMeal」	1..1	M
14.2.	@codeSystem	コード体系 OID 「1.2.392.200119.10.180160」	1..1	M
14.3.	@codeSystemname	コード体系 「JMIX」	0..1	O
15.	value	食事療養・生活療養回数	1..1	M
15.1.	@type	「QTY」	1..1	M
15.2.	@value	例: 20	1..1	M
16.	entry		0..1	R
17.	observation	食事療養・生活療養合計金額	1..1	M
17.1.	@classCode	HL7 ポキャブラリドメイン ActClaas の「OBS」を指定。	1..1	M
17.2.	@moodCode	HL7 ポキャブラリドメイン ActMood の「EVN」を指定。	1..1	M
18.	code	食事療養・生活療養合計金額のコード	1..1	M
18.1.	@code	コードのニーモニック 「OrganDonor.MedicalTreatment.TotalAmount」	1..1	M
18.2.	@codeSystem	コード体系 OID 「1.2.392.200119.10.180160」	1..1	M
18.3.	@codeSystemname	コード体系 「JMIX」	0..1	O
19.	value	食事療養・生活療養合計金額	1..1	M
19.1.	@type	「MO」	1..1	M
19.2.	@value	例: 3000	1..1	M
19.3.	@unit	「yen」	0..1	R

6.2.5.6.4 臓器提供者傷病名情報セクション

当該セクションは臓器提供者の傷病名情報について記載する。これは 6.2.5.3 節の「病名情報セクション」に含まれる項目が同じである。XML 仕様については、XPath の 1 行目が表 6-103 のようになり、以降は同様である。

表 6-103 臓器提供者傷病名情報セクションクラスの XML 仕様

No	XPath	値	多重度	選択性
1.	/ClinicalDocument/component /structuredBody/component/section/component/section/component/section/component/section		1..*	M
2.	code	セクションコード(傷病名情報)	1..1	M
2.1.	@code	コードのニーモニック	1..1	M

No	XPath	値	多重度	選択性
		「Claimed.Disease」		
2.2.	@codeSystem	コード体系 OID 「1.2.392.200119.10.18000」	1..1	M
2.3.	@codeSystemname	コード体系 「JMIX」	0..1	O
2.4.	@displayName	コードの表示名 「傷病名情報」	0..1	O
3.	title	セクションタイトル	0..1	O
3.1.	text ()	「臓器提供者傷病名情報」	1..1	M
4.	entry		1..1	M
5.	observation	傷病名コード情報	0	M
	<<以降、続く>>			

6.2.5.6.5 臓器提供者摘要情報

臓器提供者摘要情報は、以下のセクションから構成される。

- 6.2.5.6.5.1 臓器提供者診療行為レコードセクション
- 6.2.5.6.5.2 臓器提供者医薬品レコードセクション
- 6.2.5.6.5.3 臓器提供者特定器材レコードセクション
- 6.2.5.6.5.4 臓器提供者コメントレコードセクション

6.2.5.6.5.1 臓器提供者診療行為レコードセクション

当該セクションは臓器提供者の診療行為レコードについて記載する。これは 6.2.2.8.1 節「診療行為レコードセクション」に含まれる項目が同じである。XML 仕様については、XPath の 1 行目が表 6-104 のようになり、以降は同様である。

表 6-104 臓器提供者診療行為レコードセクションクラスの XML 仕様

No	XPath	値	多重度	選択性
1.	/ClinicalDocument/component /structuredBody/component/section/compone nt/section/component/section/component/sec tion/component/section/component/section		1..*	M
2.	code	セクションコード(診療行為レコード)	1..1	M
2.1.	@code	コードのニック 「MedicalTreatment」	1..1	M
2.2.	@codeSystem	コード体系 OID 「1.2.392.200119.10.180000」	1..1	M
2.3.	@codeSystemname	コード体系 「JMIX」	0..1	O
2.4.	@displayName	コードの表示名 「診療行為レコード」	0..1	O
3.	title	セクションタイトル	0..1	O
3.1.	text ()	「臓器提供者診療行為レコード」	1..1	M
4.	entry		0..1	R
5.	Act	診療識別情報	1..1	M
	<<以降、続く>>			

6.2.5.6.5.2 臓器提供者医薬品レコードセクション

当該セクションは臓器提供者の医薬品レコードについて記載する。これは 6.2.2.8.2 節「医薬品レコードセクション」に含まれる項目が同じである。XML 仕様については、XPath の 1 行目が表 6-105 のようになり、

以降は同様である。

表 6-105 臓器提供者医薬品レコードセクションクラスの XML 仕様

No	XPath	値	多重度	選択性
1.	/ClinicalDocument/component /structuredBody/component/section/component/section/component/section/component/section/component/section		0..*	R
2.	code	セクションコード(医薬品レコード)	1..1	M
2.1.	@code	コードのニーモニック 「Medication.Drug」	1..1	M
2.2.	@codeSystem	コード体系 OID 「1.2.392.200119.10.180000」	1..1	M
2.3.	@codeSystemname	コード体系 「JMIX」	0..1	O
2.4.	@displayName	コードの表示名 「医薬品レコード」	0..1	O
3.	title	セクションタイトル	0..1	O
3.1.	text ()	「臓器提供者医薬品レコード」	1..1	M
4.	entry		1..1	M
5.	Act	診療識別	1..1	M
	《以降、続く》			

6.2.5.6.5.3 臓器提供者特定器材レコードセクション

当該セクションは臓器提供者の特定器材レコードの情報について記載する。これは 6.2.2.8.3 節「特定器材レコードセクション」に含まれる項目が同じである。XML 仕様については、XPath の 1 行目が表 6-106 のようになり、以降は同様である。

表 6-106 臓器提供者特定器材レコードセクションクラスの XML 仕様

No	XPath	値	多重度	選択性
1.	/ClinicalDocument/component /structuredBody/component/section/component/section/component/section/component/section/component/section		0..*	R
2.	code	セクションコード(特定器材レコード)	1..1	M
2.1.	@code	コードのニーモニック 「SpecificMedicalMaterials」	1..1	M
2.2.	@codeSystem	コード体系 OID 「1.2.392.200119.10.180000」	1..1	M
2.3.	@codeSystemname	コード体系 「JMIX」	0..1	O
2.4.	@displayName	コードの表示名 「特定器材レコード」	0..1	O
3.	title	セクションタイトル	0..1	O
3.1.	text ()	「臓器提供者特定器材レコード」	1..1	M
4.	entry		1..1	M
5.	Act		1..1	M
5.1.	《以降、続く》			
5.2.				

6.2.5.6.5.4 臓器提供者コメントレコードセクション

当該セクションは臓器提供者のコメントレコードの情報について記載する。これは 6.2.2.8.4 節「コメントレコードセクション」に含まれる項目が同じである。XML 仕様については、XPath の 1 行目が表 6-107 のようになり、以降は同様である。

表 6-107 臓器提供者コメントレコードセクションクラスの XML 仕様

No	XPath	値	多重度	選択性
1.	/ClinicalDocument/component /structuredBody/component/section/component/section/component/section/component/section/component/section		0..*	R
2.	code	セクションコード(コメントレコード)	1..1	M
2.1.	@code	コードのニーモニック 「Note」	1..1	M
2.2.	@codeSystem	コード体系 OID 「1.2.392.200119.10.18000」	1..1	M
2.3.	@codeSystemname	コード体系 「JMIX」	0..1	O
2.4.	@displayName	コードの表示名 「コメントレコード」	0..1	O
3.	title	セクションタイトル	0..1	O
3.1.	text ()	「臓器提供者コメントレコード」	1..1	M
4.	entry		1..1	M
5.	Act	診療識別	1..1	M
	《以降、続く》			

6.2.5.6.6 臓器提供者症状詳記情報セクション

当該セクションは臓器提供者の症状詳記の情報について記載する。これは 6.2.2.9 節の「症状詳記情報セクション」に含まれる項目が同じである。XML 仕様については、XPath の 1 行目が表 6-108 のようになり、以降は同様である。

表 6-108 臓器提供者症状詳記情報セクションクラスの XML 仕様

No	XPath	値	多重度	選択性
1.	/ClinicalDocument/component /structuredBody/component/section/component/section/component/section/component/section		1..*	M
2.	code	セクションコード(症状詳記情報)	1..1	M
2.1.	@code	コードのニーモニック 「SymptomDetailedRecord」	1..1	M
2.2.	@codeSystem	コード体系 OID 「1.2.392.200119.10.18000」	1..1	M
2.3.	@codeSystemname	コード体系 「JMIX」	0..1	O
2.4.	@displayName	コードの表示名 「症状詳記情報」	0..1	O
3.	title	セクションタイトル	0..1	O
3.1.	text ()	「臓器提供者症状詳記情報」	1..1	M

No	XPath	値	多重度	選択性
4.	entry		1..1	M
5.	observation	症状詳記区分	1..1	M
	《以降、続く》			

7.電子化形式仕様の詳細 4 : DPC 診療報酬請求書

この情報は、診療報酬請求の仕組みでは、請求する医療機関における請求の総計情報が対象になる。この点で、前述している前述の仕様では表現ができないため、枠組みを別にして仕様を記述する。なお、4章に記載している CDA を適用する上での諸条件は同じとする。

7.1 CDA 共通項目 (ヘッダ部)

7.1.1 文書情報 (ClinicalDocument)

診療文書 (ClinicalDocument) は、XML の開始部に使用される文書のヘッダ情報であり、XML コードの最初の属性である。

本報告書で定義される XML インスタンスの名前空間は「`urn:hl7-org:v3`」とする。名前空間宣言は、その名前空間が初めて使用される要素、または、それより上位に存在する要素で宣言する必要がある。そのため、この名前空間の宣言は、XML のルート要素で行う必要がある。名前空間を識別するための接頭辞は任意のものを指定可能である。また、本報告書で定義される XML インスタンスでは、

「`http://www.w3.org/2001/XMLSchemainstance`」という URI で識別される XML スキーマインスタンスの名前空間を使用する。その名前空間には、「`xsi`」という接頭辞が指定される。そのため、この XML インスタンス内で、XML スキーマインスタンスの名前空間を使用する箇所もしくはその上位の要素内で、名前空間宣言を行う必要がある。例を以下に示す。

【例】

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" ?>
<ClinicalDocument xmlns="urn:hl7-org:v3" xmlns:voc="urn:hl7-org:v3/voc"
  xmlns:xsi="http://www.w3.org/2001/XMLSchema-instance"
  xsi:schemaLocation="urn:hl7-org:v3 CDA.xsd">
  <typeId root="2.16.840.1.113883.1.3" extension="POCD_HD000040" />
  <id extension="NI" root="2.16.840.1.113883.19.4" />
  <code code=" DPC.Claim.Total.SYS " codeSystem="1.2.392.200119.10.18000"
    codeSystemName=JMIX displayName="DPC 診療報酬請求書" />
  <title>DPC 診療報酬請求書</title>
  <effectiveTime value="201005171800" />
  <confidentialityCode code="N" codeSystem="2.16.840.1.113883.5.25" />
  <languageCode code="ja-JP" />
```

<versionNumber value="200910" />

7.1.2 診療報酬請求書情報

DPCレセプト電算処理システム請求ファイルの診療報酬請求書情報に含まれる情報項目と HL7CDA に準拠する上で必要な情報を ClinicalDocument に表す。表 7-1 に示す DPCレセプト電算処理システム請求ファイルの項目を含む。ClinicalDocument クラスとその XML 仕様についてを表 7-2 に示す。

表 7-1 ヘッダ部の診療報酬請求書情報と CDA 管理情報

1) 医療機関情報レコード

項目	コード	コード体系	備考
請求年月	Claim.YearMonth	1.2.392.200119.10.180020	別表5

2) レセプト共通レコード

項目	J-MIXコード	コード体系	備考
記録条件仕様年月情報	Receipt.Secifications.PublishedDate	1.2.392.200119.10.180030	別表5

表 7-2 ClinicalDocument クラスの XML 仕様

No	XPath	値	多重度	選択性
0	/ClinicalDocument		1..1	M
1.	typeId	タイプ ID。準拠している CDA R2 仕様を識別する。	1..1	M
1.1.	@root	HL7 に登録されている成果物の名前空間 OID となる「2.16.840.1.113883.1.3」を設定。	1..1	M
1.2.	@extension	CDA R2 仕様のバージョンを一意に識別する成果物識別子である「POCD_HD000040」を設定。	1..1	M
2.	id	生成されたファイルをユニークに識別する ID。	1..1	M
2.1.	@nullFlavor	HL7 ポキャブラリドメイン NullFlavor より「NI」を設定。未使用としヌル値を意味する「NI」を設定。	1..1	M
3.	code	生成されたファイルの種別コード	1..1	M
3.1.	@code	「Claim.Total.SYS」	1..1	M
3.2.	@codeSystem	コード体系の OID 「1.2.392.200119.10.18000」	1..1	M
3.3.	@displayName	コードの表示名 「診療報酬請求書情報」	0..1	O
4.	title	文書タイトル	1..1	M
4.1.	text()	例:「診療報酬請求書」	1..1	M
5.	effectiveTime	報告年月日 オンライン診療報酬請求ファイルで請求した年月を設定する。請求年月	1..1	M
5.1.	@value	[YYYYMM] 例: 200405	1..1	M
6.	confidentialityCode	文書の守秘レベル。	1..1	M
6.1.	@code	HL7 ポキャブラリドメイン Confidentiality より「N」を設定。 ※通常時の守秘レベルを表す「N」を設定。	1..1	M
6.2.	@codeSystem	「2.16.840.1.113883.5.25」	1..1	M
7.	versionNumber	文書のバージョン。当該オンライン診療報酬請求の仕様公開された年月を記載する。 記録条件仕様年月情報	0..1	R
7.1.	@value	[YYYYMM] の整数として扱う。6 桁。] 例: 200910	0..1	R
8.	recordTarget	当該請求レセプトの請求医療機関情報情報	1..1	M
9.	author	記載者情報(当該請求医療機関情報)	1..1	M

No	XPath	値	多重度	選択性
10.	custodian	請求ファイル管理責任情報	1..1	M
11.	informationRecipient	審査支払機関情報	1..1	M
12.	documentationOf	診療年月	1..1	M
13.	consent	検索番号		
14.	component	<以下、構造化ボディ部分に続く>		
	structuredBody	構造化ボディ		
	component			

7.1.3 請求医療機関情報 (RecordTarget)

診療報酬請求をおこなう医療機関情報を RecordTarget で表す。本来「RecordTarget」クラスは、“患者”を対象としたクラスである。しかし、「診療報酬請求書情報」には患者を個別に指定する情報は存在しなく、含まれる各情報の対象は医療機関であることから、“患者”を“請求医療機関”とみなし、当該「RecordTarget」クラスを使用した。

表 7-3 に示す D P C レセプト電算処理システム請求ファイルの項目を含む。XML 仕様について表 7-4 に示す。

表 7-3 請求医療機関情報に含まれる情報項目

1) 医療機関情報レコード

項目	J-MIXコード	コード体系	備考
医療機関コード	Claim.Provider.Code	1.2.392.200119.10.180020	

表 7-4 RecordTarget クラスの XML 仕様

No	XPath	値	多重度	選択性
1.	/ClinicalDocument/recordTarget		1..1	M
2.	recordTarget	請求医療機関情報	1..1	M
3.	patientRole	請求医療機関情報	1..1	M
4.	id	請求医療機関情報のコード	1..1	M
4.1.	@extension	請求医療機関情報コードを設定。 例: 140000032983	1..1	M
4.2.	@root	医療機関情報コード発行機関の OID。 例: 1.2.392.200119.90.XXXXX	1..1	M

7.1.4 診療報酬請求作成者情報 (Author)

診療報酬請求書情報作成者を Author で表す。ここでは作成者を請求元の医療機関とみなし、診療報酬請求を行う医療機関情報を記載する。表 7-5 に示す D P C レセプト電算処理システム請求ファイルの項目を含む。XML 仕様について表 7-6 に示す。

表 7-5 診療報酬請求作成者情報に含まれる情報項目

1) 医療機関情報レコード

項目	JMIXコード	コード体系	備考
都道府県	Claim.Provider.Address.PrefecturePart.Code	1.2.392.200119.10.180020	別表2
医療機関コード	Claim.Provider.Code	1.2.392.200119.10.180020	
医療機関名称	Claim.Provider.Name	1.2.392.200119.10.180020	

電話番号	Claim.Provider.PhoneNumber	1.2.392.200119.10.180020	
------	----------------------------	--------------------------	--

表 7-6 診療報酬請求作成者情報の XML 仕様

No	XPath	値	多重度	選択性
1.	/ClinicalDocument/author		1..1	M
9.3.	time	請求書ファイルの実作成日	1..1	M
9.4.	@value	[YYYYMMDD] 例:20070119	1..1	M
10.	assignedAuthor	診療報酬請求作成者情報	1..1	M
11.	id	請求医療機関での作成者ID	1..1	M
11.1.	@nullFlavor	「NI」 HL7 ポキャブラリドメイン NullFlavor より「NI」を設定。	1..1	M
12.	representedOrganization	医療機関情報	1..1	M
13.	id	医療機関の識別子、医療機関コード 今回の場合「RecordTarget」クラスに設定されている id と同じになる、	1..1	M
13.1.	@extention	医療機関コード 例:140000032983	1..1	M
13.2.	@root	医療機関コード体系コード OID 例:1.2.392.200119.90.XXXXX	1..1	M
14.	name	医療機関名称	1..1	M
14.1.	text()	例:東京病院	1..1	M
15.	telecom	医療機関電話番号	0..1	O
15.1.	@use	HL7 表 20 より、「WP」を固定。	1..1	M
15.2.	@value	電話番号文字列。 例: 'tel:(03)3344-5566' 'tel:' の部分は固定の書き方。 HL7 表 18 より、「tel」を固定。	1..1	M
16.	addr	医療機関所在地	1..1	M
16.1.	@use	HL7 表 24 より、「WP」を固定。	1..1	M
17.	state	医療機関等道府県名(指定されているコードを設定)	1..1	M
17.1.	@type	「CV」	1..1	M
17.2.	@value	規定されているコードより設定。 例:13	1..1	M

7.1.5 診療報酬請求ファイル管理責任機関情報 (Custodian)

該当する診療報酬請求ファイル管理責任機関情報を表す。表 7-7 に Custodian クラスと XML 仕様について示す。CDA 上必要な要素であるため記載が必要だが、実際の情報は設定しない。

表 7-7 Custodian クラスと XML 仕様

No	XPath	値	多重度	選択性
1.	/ClinicalDocument/custodian	診療報酬請求ファイル管理責任機関	1..1	M
6.	assignedCustodian		1..1	M
7.	representedCustodianOrganization		1..1	M
8.	id	診療報酬請求ファイル管理責任機関の識別子	1..1	M
8.1.	@ nullFlavor	「NI」 HL7 ポキャブラリドメイン NullFlavor より「NI」を設定。	1..1	M
9.	name	診療報酬請求ファイル管理責任.医療機関.名称(使用しない)	0..1	O

No	XPath	値	多重度	選択性
9.1.	text()	医療機関名称	0..1	O

7.1.6 審査支払機関情報 (informationRecipient)

審査支払機関情報を informationRecipient で表す。表 7-8 に示す DPC レセプト電算処理システム請求ファイルの項目を含む。XML 仕様について表 7-9 に示す。

表 7-8 審査支払機関情報に含まれる情報項目

1) 医療機関情報レコード

項目	コード	コード体系	備考
審査支払機関	MedicalFeePaymentFund.Code	1.2.392.200119.10.180020	別表1

表 7-9 informationRecipient クラスの XML 仕様

No	XPath	値	多重度	選択性
1.	/ClinicalDocument/ informationRecipient	審査支払機関	1..1	M
6.	id	審査支払機関区分	1..1	M
6.1.	@extention	審査支払機関区分コード。 別表 1 に規定されているコードを設定。 例: 1	1..1	M
6.2.	@root	審査支払機関コード体系コード OID 例: 1.2.392.200119.90.XXXXX	1..1	M
7.	receivedOrganization		0..1	O
8.	id	審査支払機関の識別子	0..1	O
8.1.	@extention	審査支払機関コード 例: 33300003333	0..1	O
8.2.	@root	審査支払機関コード体系コード OID 例: 1.2.392.200119.90.102	0..1	O
9.	name	審査支払機関名称	0..1	O
9.1.	text()	例: 社会保険診療報酬支払基金	0..1	O

7.1.7 診療年月情報 (ServiceEvent)

診療報酬請求ファイルの対象になっている診療実施年月の情報を記載する。表 7-10 に示す DPC レセプト電算処理システム請求ファイルの項目を含む。表 7-11 に ServiceEvent クラスと XML 仕様について示す。

表 7-10 診療年月情報に含まれる情報項目

1) レセプト共通レコード

項目	J-MIXコード	コード体系	備考
診療年月	Receipt.Visit.YearMonth	1.2.392.200119.10.180030	別表5

表 7-11 ServiceEvent クラスのXML仕様

No	XPath	値	多重度	選択性
1.	/ClinicalDocument/documentationOf		1..1	M
5.	serviceEvent	診療年月情報	1..1	M

No	XPath	値	多重度	選択性
6.	code	診療年月コード	1..1	M
6.1.	@code	診療年月コードのニーモニック 「Receipt.Visit.YearMonth」	1..1	M
6.2.	@codeSystem	コードのコード体系 OID 「1.2.392.200119.10.180030」	1..1	M
6.3.	@codeSystemNam	コード体系 「JMIX」	0..1	0
6.4.	@displayName	「診療年月」	0..1	0
7.	effectiveTime	診療年月	1..1	M
7.1.	@value	診療年月に該当する文字列。 書式は「YYYYMM」。	1..1	M

7.1.8 検索番号情報 (consent)

審査支払基金からの返礼、再請求時に請求ファイルに記載する検索番号の情報を記載する。表 7-12 に示す DPC レセプト電算処理システム請求ファイルの項目を含む。表 7-13 に consent クラスと XML 仕様について示す。

表 7-12 検索番号情報に含まれる情報項目

1) レセプト共通レコード

項目	J-MIXコード	コード体系	備考
検索番号	Receipt.SearchNumber	1.2.392.200119.10.180030	

表 7-13 consent クラスのXML仕様

No	XPath	値	多重度	選択性
1.	/ClinicalDocument/ authorization		0..1	R
2.	consent	検索番号情報	1..1	M
3.	id	検索番号	1..1	M
3.1.	@extention	検索番号を設定する。 例: 47474747737345234	1..1	M
3.2.	@root	検索番号発行機関コード体系 OID 例: 1.2.392.200119.90.XXXXX	1..1	M
4.	code	検索番号情報コード	1..1	M
4.1.	@code	検索番号情報コードのニーモニック 「Receipt.SearchNumber」	1..1	M
4.2.	@codeSystem	コードのコード体系 OID 「1.2.392.200119.10.180030」	1..1	M
4.3.	@codeSystemName	コード体系 「JMIX」	0..1	0
4.4.	@displayName	「検索番号」	0..1	0
5.	statusCode		1..1	M
5.1.	@value	「completed」を設定。	1..1	M

7.2 CDA ボディ部

本ボディ部は以下のように構成される。

7.2.1 点数表情報セクション

7.2.2 診療報酬請求書レコードセクション

7.2.1 点数表情報セクション

医療機関が使用するレセプトの点数表種類について記載する。表 7-14 に示す D P C レセプト電算処理システム請求ファイルの項目を含む。本文書では、表 7-15 に点数表情報の XML 様式について示す。

表 7-14 点数表情報セクションに含まれる情報項目

1) 医療機関情報レコード

項目	J-MIXコード	コード体系	備考
点数表	Claim.Provider.PointTable.Code	1.2.392.200119.10.180020	

表 7-15 点数表情報セクションクラスのXML仕様

No	XPath	値	多重度	選択性
1.	/ClinicalDocument/component/structuredBody/component/section		1..1	M
7.	code	セクションコード(点数表情報)	1..1	M
7.1.	@code	コードのニーモニック 「Claim.Provider.PointTable.Code」	1..1	M
7.2.	@codeSystem	コード体系 OID 「1.2.392.200119.10.180020」	1..1	M
7.3.	@displayName	コードの表示名 「点数表コード」	0..1	O
8.	title	セクションタイトル	0..1	O
8.1.	text()	「点数表コード」	1..1	M
9.	entry		1..1	M
10.	observation	点数表の区分	1..1	M
10.1.	@classCode	HL7 ボキャブラリドメイン ActCode の「OBS」を指定。	1..1	M
10.2.	@moodCode	HL7 ボキャブラリドメイン ActMood の「EVN」を指定。	1..1	M
11.	id	点数表の区分の値	1..1	M
11.1.	@extention	別表3に規定されている表の区分コードを設定する。 医科のコード「1」を指定。	1..1	M
11.2.	@root	例: 1.2.392.200119.90.XXXXX	1..1	M

7.2.2 診療報酬請求書レコードセクション

当該セクションは診療報酬請求書レコードについて記載する。表 7-16 に示す D P C レセプト電算処理システム請求ファイルの項目を含む。表 7-17 に診療報酬請求書レコードセクションとその XML 仕様について示す。

表 7-16 診療報酬請求書レコードに含まれる情報項目

1) 診療報酬請求書レコード

項目	J-MIXコード	コード体系	備考
総件数	Claim.TotalNumber	1.2.392.200119.10.180170	
総合計点数	Claim.TotalPoints	1.2.392.200119.10.180170	

表 7-17 診療報酬請求書レコードセクションクラスのXML仕様

No	XPath	値	多重度	選択性
1.	/ClinicalDocument/component /structuredBody/component/section		1..1	M
12.	code	セクションコード(診療報酬請求書レコード)	1..1	M
12.1.	@code	コードのニーモニック 「Claime」	1..1	M
12.2.	@codeSystem	コード体系 OID 「1.2.392.200119.10.180000」	1..1	M
12.3.	@codeSystemname	コード体系例 : JMIX		
12.4.	@displayName	コードの表示名 「診療報酬請求書レコード」		
13.	title	セクションタイトル	0..1	O
13.1.	text ()	「診療報酬請求書レコード」	1..1	M
14.	entry		0..1	R
15.	observation	総件数	1..1	M
15.1.	@classCode	HL7 ボキャブラリドメイン ActClaas の「OBS」を指定。	1..1	M
15.2.	@moodCode	HL7 ボキャブラリドメイン ActMood の「EVN」を指定。	1..1	M
16.	code	総件数	1..1	M
16.1.	@code	コードのニーモニック 「Claime.TotalNumber」	1..1	M
16.2.	@codeSystem	コード体系 OID 「1.2.392.200119.10.180170」	1..1	M
16.3.	@codeSystemname	コード体系 「JMIX」	0..1	O
17.	value	総件数の値	1..1	M
17.1.	@type	「PQ」	1..1	M
17.2.	@value	例: 5500	1..1	M
18.	entry		0..1	R
19.	observation	総合計点数	1..1	M
19.1.	@classCode	HL7 ボキャブラリドメイン ActClaas の「OBS」を指定。	1..1	M
19.2.	@moodCode	HL7 ボキャブラリドメイン ActMood の「EVN」を指定。	1..1	M
20.	code	総合計点数	1..1	M
20.1.	@code	コードのニーモニック 「Claime.TotalPoints」	1..1	M
20.2.	@codeSystem	コード体系 OID 「1.2.392.200119.10.180170」	1..1	M
20.3.	@codeSystemname	コード体系 「JMIX」		
21.	value	総合計点数の値	1..1	M
21.1.	@type	「PQ」	1..1	M
21.2.	@value	例: 800010000	1..1	M

8. 考察、検討事項

- 1) レセプト電算処理システムのファイル仕様に規定されている「別表」や「レセプト電算処理マスター」に対し、本報告書では例として OID を仮コードとして記載したが標準化に向け OID の取得が必要であ

- る。
- 2) レセプト電算処理システムのファイル仕様の記述要件では、“年月日”など日時に関する情報は和暦で記載することになっている。本報告書での HL7 CDA の仕様では、CDA R2 の情報モデル (CDA RMIM RM000040) で和暦表現ができないため西暦での記述にしている。対処としては、モデルとスキーマを変更してローカルの形態をつくるか、実装する際に和暦変換をすることが考えられる。
 - 3) レセプト電算処理システム請求ファイル仕様にある情報項目である「レコード識別情」「マルチボリューム識別情報」については検討の対象項目から除外した。これらの情報はそれぞれ CSV ファイルを作成する上での情報始まりを示すための管理項目、保存媒体の順番を管理する運用ルールにあわせて使用している項目であり、今回検討する CDA の構造 (患者単位に情報の固まりを完結する、情報モデルに適合させた記述仕様である) には表現できない項目であり、また必要がない項目と考えられる。
 - 4) レセプト電算処理システム請求ファイル仕様 (DPC 用も含む) では、「診療報酬明細書」と「診療報酬請求書」の両者の情報が記述できる要件になっている。しかし当該ファイル仕様をひとつの CDA で表現するには CDA のモデル上困難である。「RecordTarget」クラスに、診療報酬明細書に関する情報では“患者”を対象としているが、この場合病院全体に関わる、つまり患者個々に関わらない情報である診療報酬請求書を表現すること CDA のモデルにあてはめることが困難である。よって、レセプト電算処理システム請求ファイル仕様における「診療報酬請求書情報」のレコード部分を別の CDA 文書として定義した。
 - 5) 「診療報酬請求書情報」を CDA で表現するにあたり診療報酬請求をおこなう医療機関情報を RecordTarget クラスに表した。本来「RecordTarget」クラスは、“患者”を対象としたクラスであり、そこから派生して医療機関の情報クラスがモデル上はある。しかし、「診療報酬請求書情報」には患者を個別に指定する情報は存在しなく、含まれる各情報の対象は医療機関であること、また「RecordTarget」クラスは記載が必須である CDA では記載の要件から、“患者”を“請求医療機関”とみなし、当該「RecordTarget」クラスを記述した。これはローカルのルール定義になる。しかし、「RecordTarget」クラスは繰り返し記述できるため診療報酬請求書の元になっている患者全員分を繰り返して記述し全体を表現する方が、本来のクラスの定義に忠実な記述であるとも考えられる。「RecordTarget」クラスにどの情報を設定する方がより良いか、様々な選択基準の検討も必要である。
 - 6) レセプト電算処理システム請求ファイル仕様には、診療報酬に関わる費用に関する項目、や診療報酬計算に関わる項目が多くあり、今回の検討ではこれらの項目を observation クラスに表現した。本来当該クラスは検体検査結果や観察結果を表現するものと定義されており、またクラスコードとして仕様範囲を CDA 上では制約されていることもあり、費用などの表現には当てはまらないと考えられる。しかし、他のクラスにおいても適当なクラスが CDA のモデル上にはないため、解釈上で客観的に得られた情報ととらえ observation クラスを使用した。

7) レセプト電算処理システム請求ファイル仕様では、ほとんどの情報項目はコードを記述することになっている。このため、今回の CDA の記述でも、各情報項目はコードの記述にとどめた。しかし、CDA の記述仕様では“項目コード”のほかにコードに対応する名称も記述できるようになっているため、使用目的から記述内容を追加することも可能である。

enrty クラスにある observation クラスにおいて、各種項目コードを“value”に設定しているが、項目名称を同時に表現する場合の記述例を以下に示す（「4 : value」以下の部分）。

No	XPath	値	多重度	選択性
1.	/ClinicalDocument/ component/structuredBody/component/section/entry		1..1	M
2.	observation	臓器提供区分	1..1	M
2.1.	@classCode	HL7 ポキャブラリドメイン ActClass の「OBS」を指定。	1..1	M
2.2.	@moodCode	HL7 ポキャブラリドメイン ActMood の「EVN」を指定。	1..1	M
3.	code	臓器提供区分のコード	1..1	M
3.1.	@code	コードのニーマニック 「OrganDonationCategory.Code」	1..1	M
3.2.	@codeSystem	コード体系 OID 「1.2.392.200119.10.180140」	1..1	M
3.3.	@codeSystemname	コード体系 「JMIX」	1..1	M
3.4.	@displayName	「臓器提供区分コード」	1..1	M
4.	value	臓器提供区分コードの値	1..1	M
4.1.	@type	「CV」	1..1	M
4.2.	@code	別表24より規定のコードを設定。 例: 2	1..1	M
4.3.	@codeSystem	例: 1.2.392.200119.90.XXXXX	1..1	M
4.4.	@codeSystemName	例: RECEIPT	1..1	M
4.5.	@displayName	例: 骨髓提供者	1..1	M

8) 今回の CDA の記述では、なるべく各項目の記載方法が同様になるような記述仕様としたため、enrty クラスにある observation クラスにおいて各種項目コードを“value”に設定しているが、データタイプが“type=CV”になる項目についてはそのコードを“id”に設定する記述方法も考えられる。以下の記載例を示す。

No	XPath	値	多重度	選択性
1.	/ClinicalDocument/ component/structuredBody/component/section/entry		1..1	M
2.	observation	臓器提供区分	1..1	M
2.1.	@classCode	HL7 ポキャブラリドメイン ActClass の「OBS」を指定。	1..1	M
2.2.	@moodCode	HL7 ポキャブラリドメイン ActMood の「EVN」を指定。	1..1	M
3.	id	臓器提供区分コードの値	1..1	M
3.1.	@root	例: 1.2.392.200119.90.XXXXX	1..1	M
3.2.	@extension	別表24より規定のコードを設定。	1..1	M

No	XPath	値	多重度	選択性
		例: 2		
4.	code	臓器提供区分のコード	1..1	M
4.1.	@code	コードのニーモニック 「OrganDonationCategory.Code」	1..1	M
4.2.	@codeSystem	コード体系 OID 「1.2.392.200119.10.180140」	1..1	M
4.3.	@codeSystemname	コード体系 「JMIX」	1..1	M
4.4.	@displayName	「臓器提供区分コード」	1..1	M

9) HL7 CDA R2 で表現できる単位の表記は ISO に準拠している。そのため、レセプト電算処理システム請求ファイル仕様にある項目のうち、診療報酬明細書上にある「回」や「点」、「単位」の単位名称を CDA の要素の“unit”には表現できない。本報告書では、同請求ファイル仕様の項目には単位名称を設定する項目がないため記載をしていないが、表現する場合には“value”のデータタイプとして“ST (テキストデータ)”にして単位名称を含めた形での記載方法が考えられるが、「回」や「点」などの区別は機械的には判断できないため、運用ルールの検討や定義が必要になる。

9. 別紙 1 : 「オンライン又は光ディスク等により請求に係る記録条件様式 (医科用)」に記載されている各種コードに関する事項

別表 1 審査支払機関コード

コード名	コード	内容
審査支払機関コード	1	社会保険診療報酬支払基金
	2	国民健康保険団体連合会

別表 2 都道府県コード

コード名	コード	内容
都道府県コード	01	北海道
	02	青森
	03	岩手
	04	宮城
	05	秋田
	06	山形
	07	福島
	08	茨城
	09	栃木
	10	群馬
	11	埼玉
	12	千葉
	13	東京
	14	神奈川
	15	新潟

コード名	コード	内容
	16	富山
	17	石川
	18	福井
	19	山梨
	20	長野
	21	岐阜
	22	静岡
	23	愛知
	24	三重
	25	滋賀
	26	京都
	27	大阪
	28	兵庫
	29	奈良
	30	和歌山
	31	鳥取
	32	島根
	33	岡山
	34	広島
	35	山口
	36	徳島
	37	香川
	38	愛媛
	39	高知
	40	福岡
	41	佐賀
	42	長崎
	43	熊本
	44	大分
	45	宮崎
	46	鹿児島
	47	沖

別表 3 点数表コード

コード名	コード	内容
点数表コード	1	医科

別表 4 診療科コード

コード名	コード	内容
診療科コード	01	内科
	02	精神科
	03	神経科
	04	神経内科
	05	呼吸器科